

シリーズ：進化し続ける産総研のコーディネーション活動(第50回) 「連携千社の会」を通じた連携の深化

イノベーション推進企画部 総括企画主幹 みのわ ともあき
美濃輪 智朗

「連携千社の会」とは

「連携千社の会」は、資金提供型共同研究などの形で産総研との緊密な連携の実績がある企業とのコミュニケーションを促進し、連携をさらに効果的なものへと深化させるために、2008年4月に発足した組織です。

入会金・年会費は無料で、各種サービスの提供を行うとともに、会員企業との情報交換を通じて新たな連携やイノベーションの創出を目指しています。

「連携千社の会」のサービス

「連携千社の会」では、会員企業に以下のサービスを提供しています。

- ・毎週お送りするメールマガジンなどにて、各種イベントの案内や産総研プレスリリースの概要などの情報提供を行います。
- ・会員交流の場としてインテリクチャルカフェなどのイベントを開催し、テーマ別の講演会やパネルディスカッション、ラボ見学などを行います。
- ・毎年秋に開催する「産総研オープンラボ」において、ラボ見学予約の優遇サービスを行います。
- ・先端機器共用イノベーションプラットフォーム（IBEC）の利用について、料金の優遇サービスを行います。
- ・イノベーションコーディネータによる会員企業訪問、情報提供、意見交換、ソリューション提供などのサービスを行います。

「連携千社の会」の活動内容や提供サービスの詳細、入会方法につきましては、文末のURLをご参照ください。

「連携千社の会」の活用

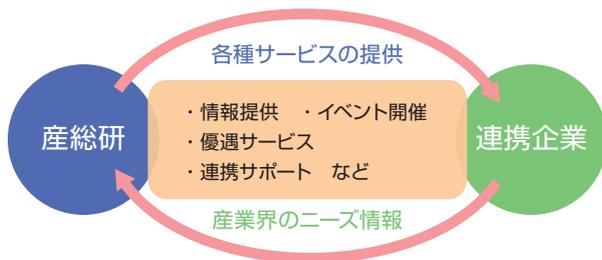
「連携千社の会」の会員企業数は、2014年2月現在で約580社になりました。今後も「連携千社の会」を通して、双方向のコミュニケーションを強化していきたいと考えています。会員同士が顔を合わす機会となるインテリクチャルカフェでは、参加者から「異分野との意見交換が勉強になった」「普段は聞けない本音の意見が聞けた」などのコメントをいただいています。実際、インテリクチャルカフェを機に、新たな共同研究が始まった例もあります。

また、会員の皆さまには「連携千社の会」を有効に活用していただきたいと考えています。「新しい研究テーマを考えたい」「わが社のシーズの新しい活用を考えたい」などのご相談があれば、「連携千社の会」事務局までぜひご連絡ください。

産総研との連携実績のある企業の方で、まだ会員でない方は、ご入会をご検討いただけましたら幸いです。なお、すでに会社としてご加入いただいている場合でも、ご担当者を追加していただくことが可能です。産総研を活用するツールの一つとして「連携千社の会」を使っていただければ幸いです。

(参考)「連携千社の会」ホームページ

<https://www.aist-renkeisensya.jp/>



「連携千社の会」の活動内容



インテリクチャルカフェ